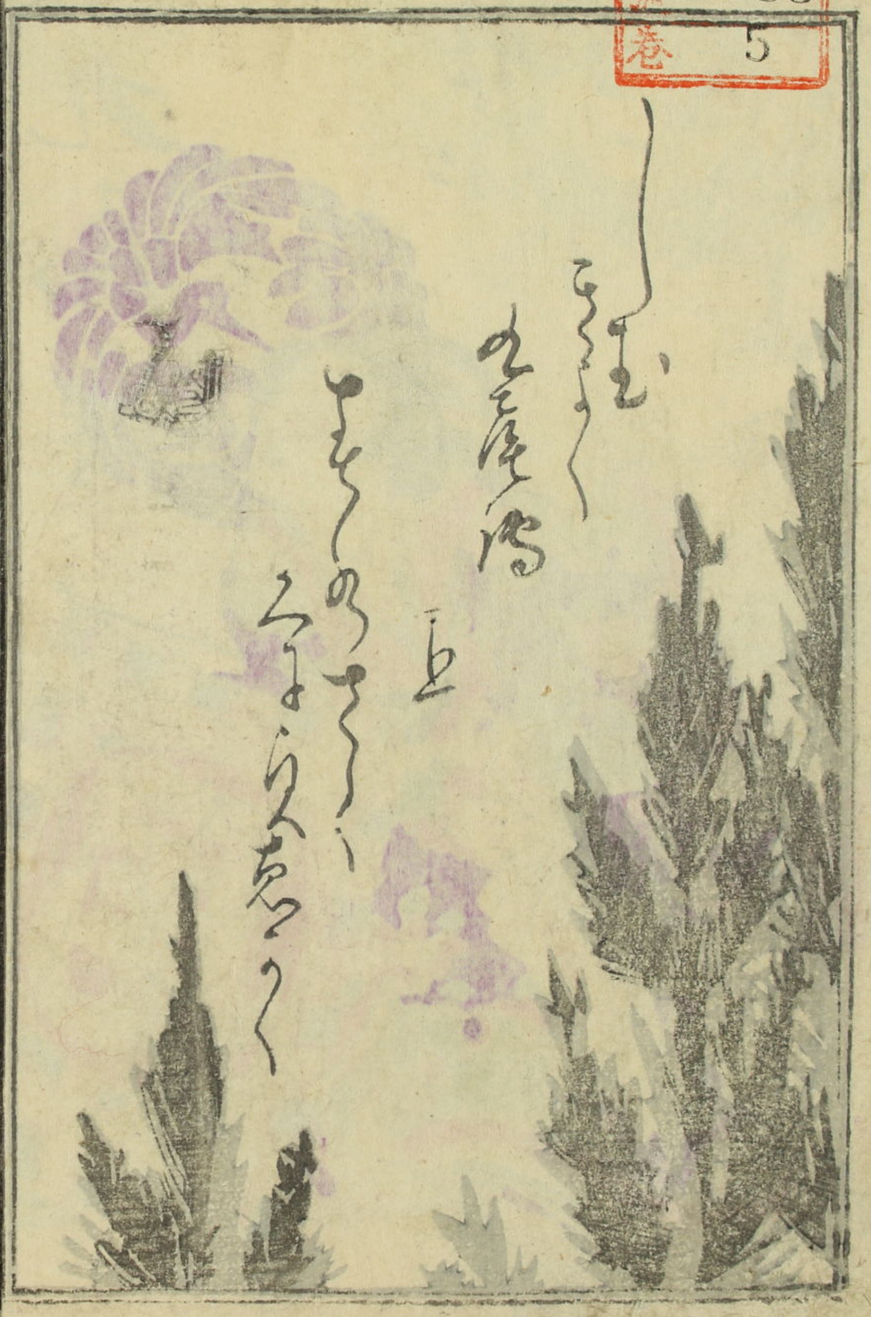
へ13
3683
5

九扁下
九扁上

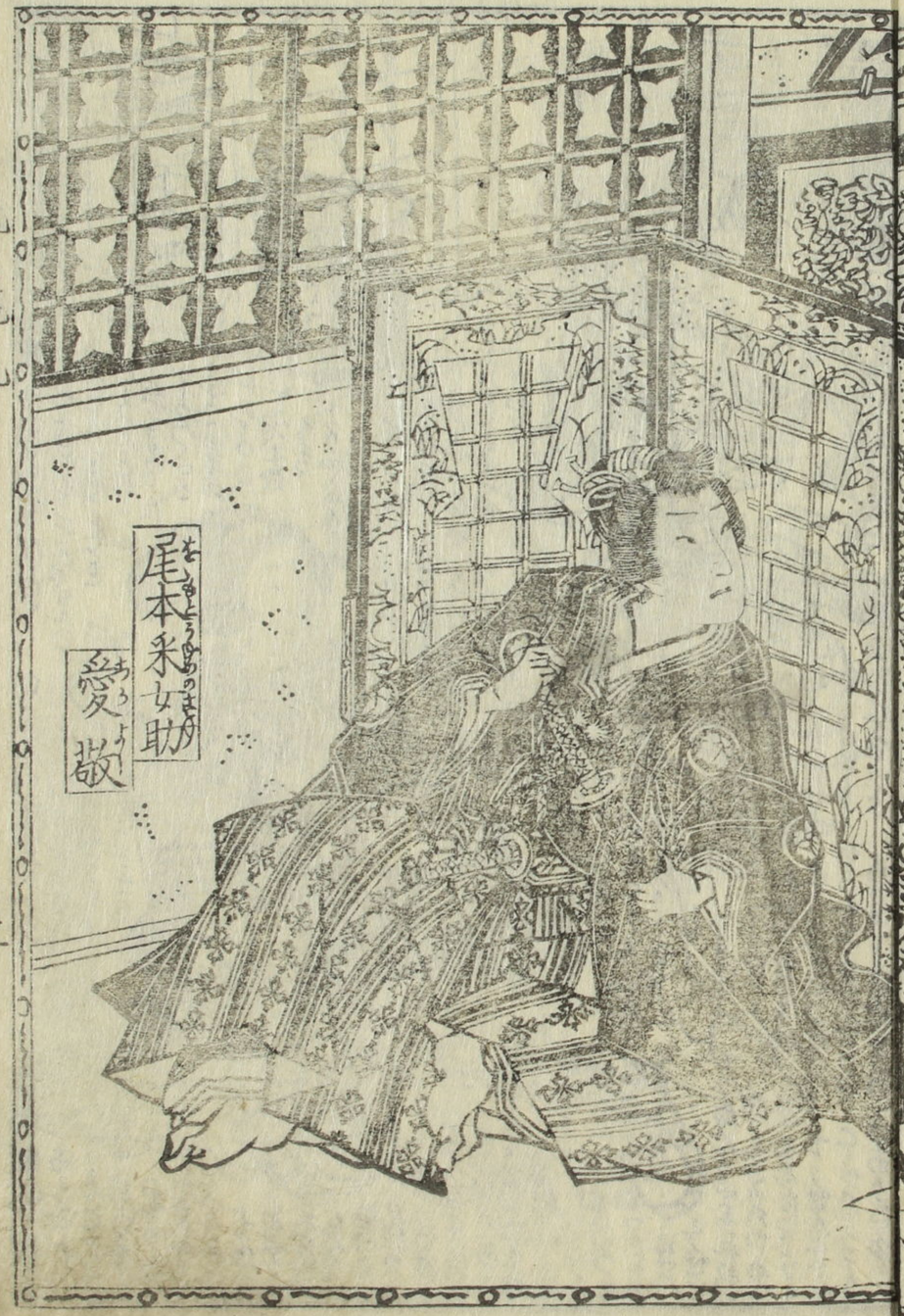
門 へ13
號 3683
巻 5



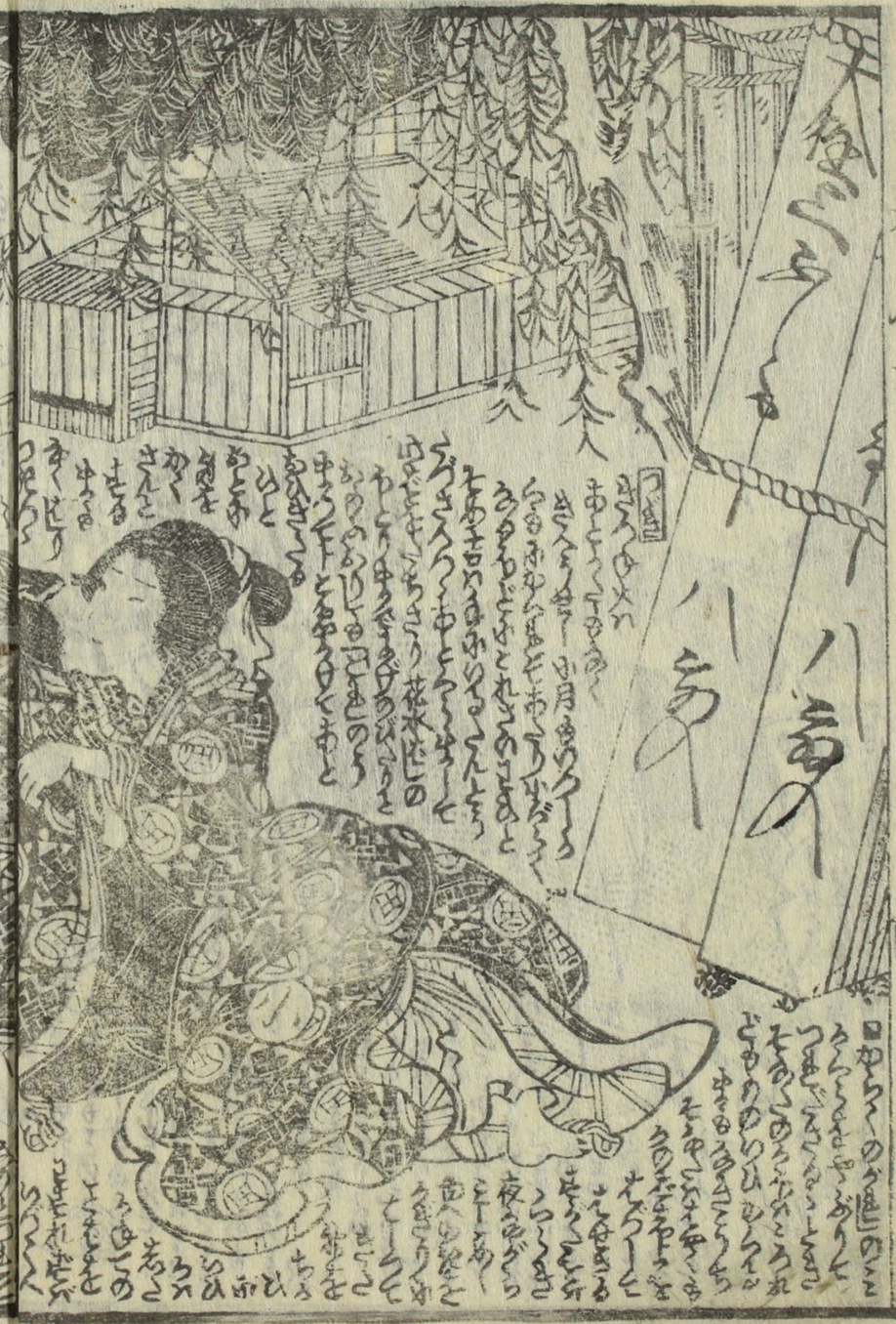
一

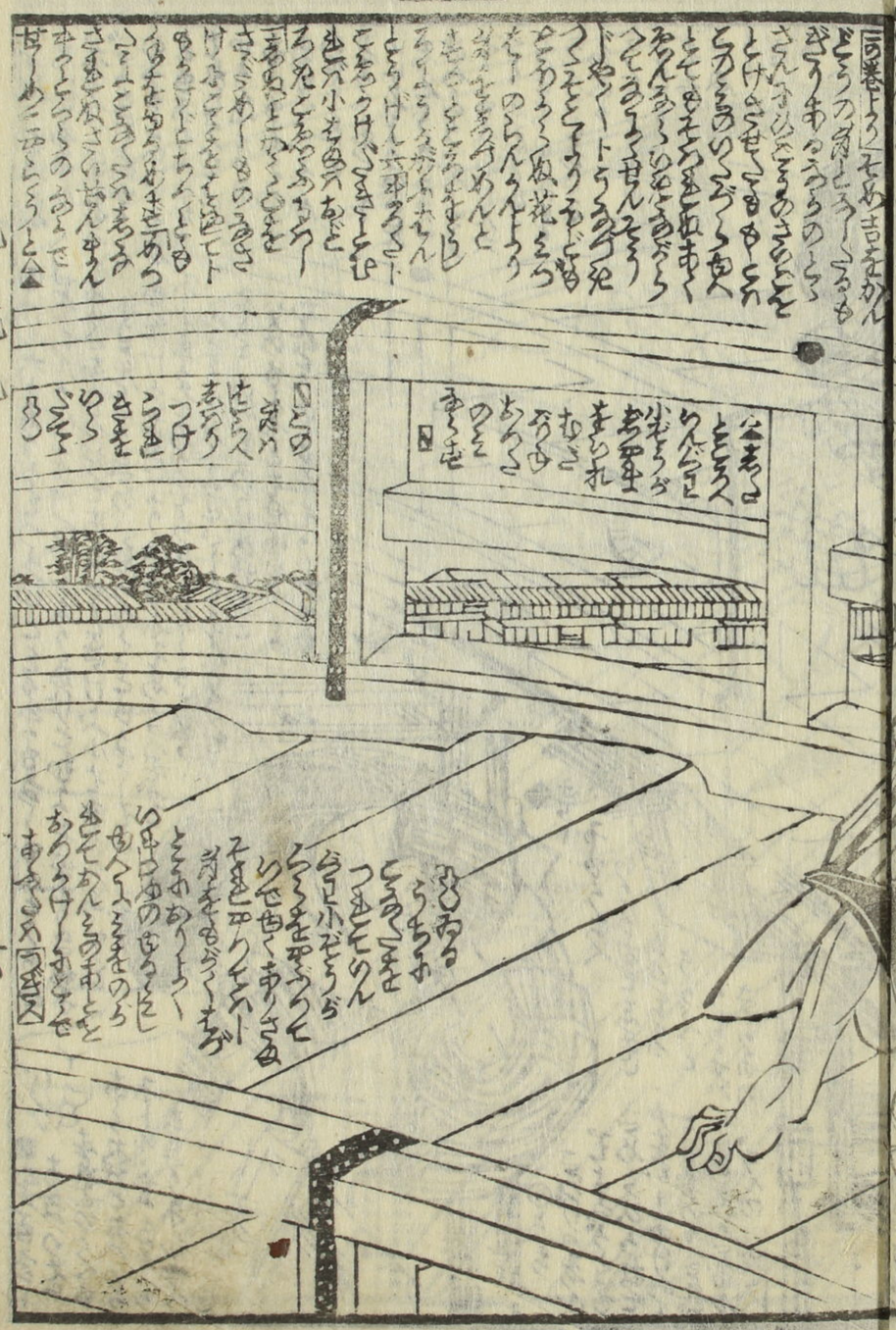
狙い人に似て毛の三筋足らざといふ尓ば尠しく才ありて反て縡を爲損ずるを俗に猴智惠とあん言へり今這策子に出せる九士ハ人にして毛の三筋多し仍て才あり智あるに似たるも終に其身を害するにいたる是あん所謂過たるハ猶及ばざるどけん欤と思ひし儘を

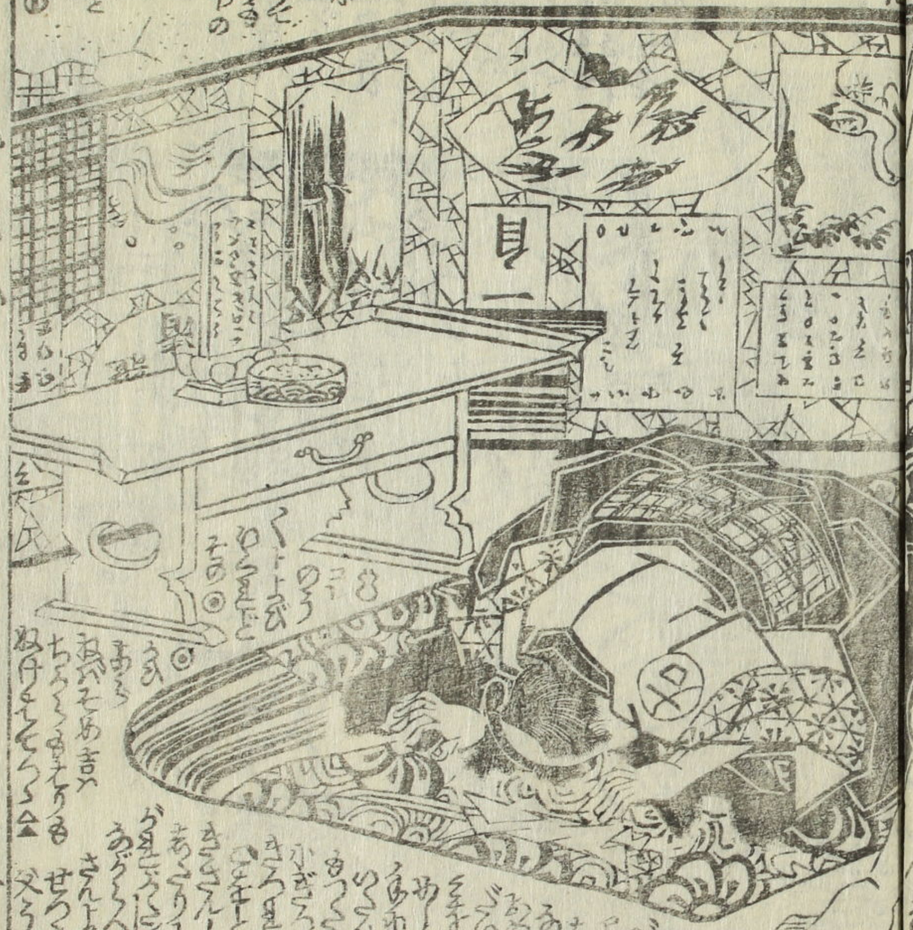
半楮に
しるす

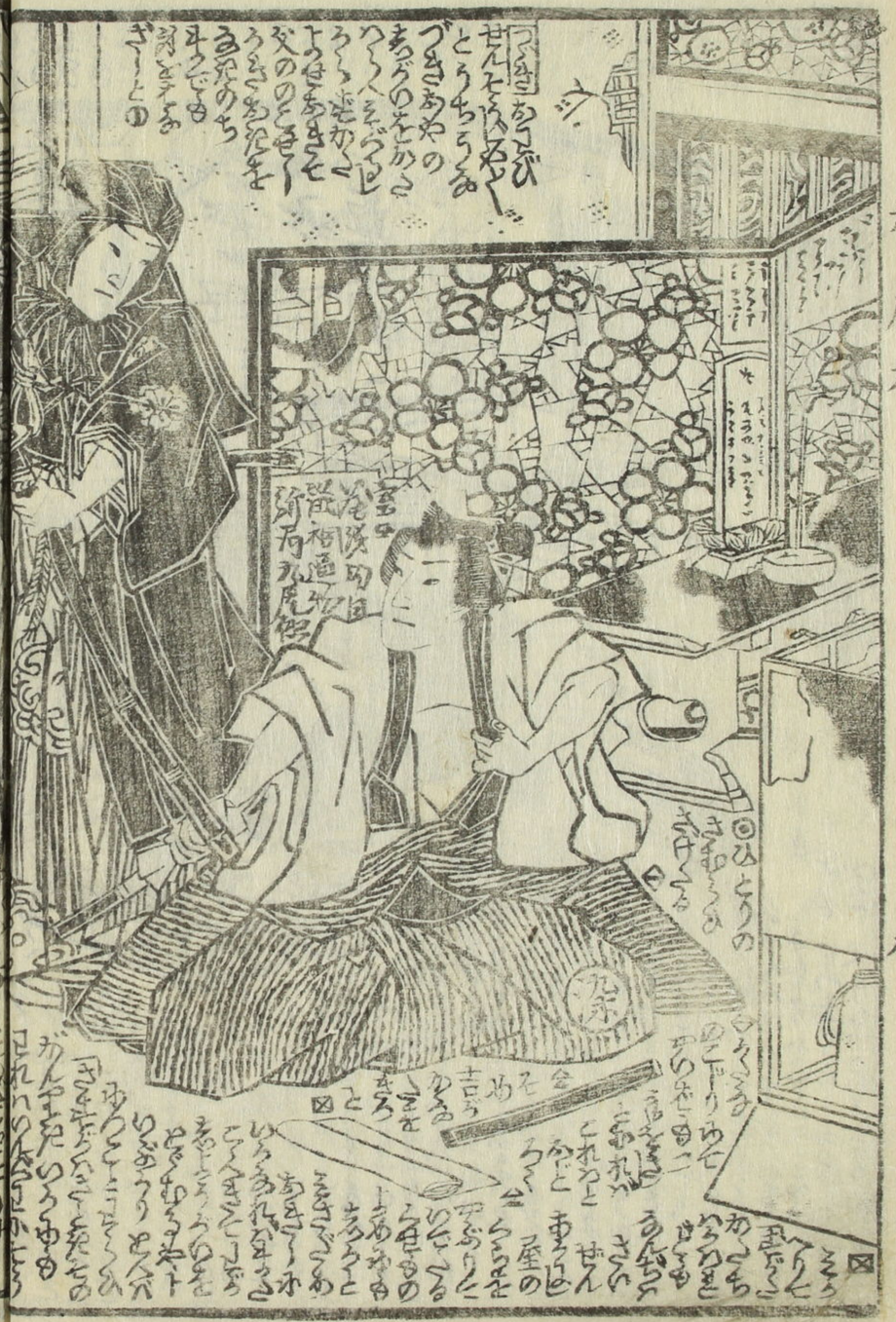

尾本采女助
愛敬

義豊の愛妾
阿鮮の方



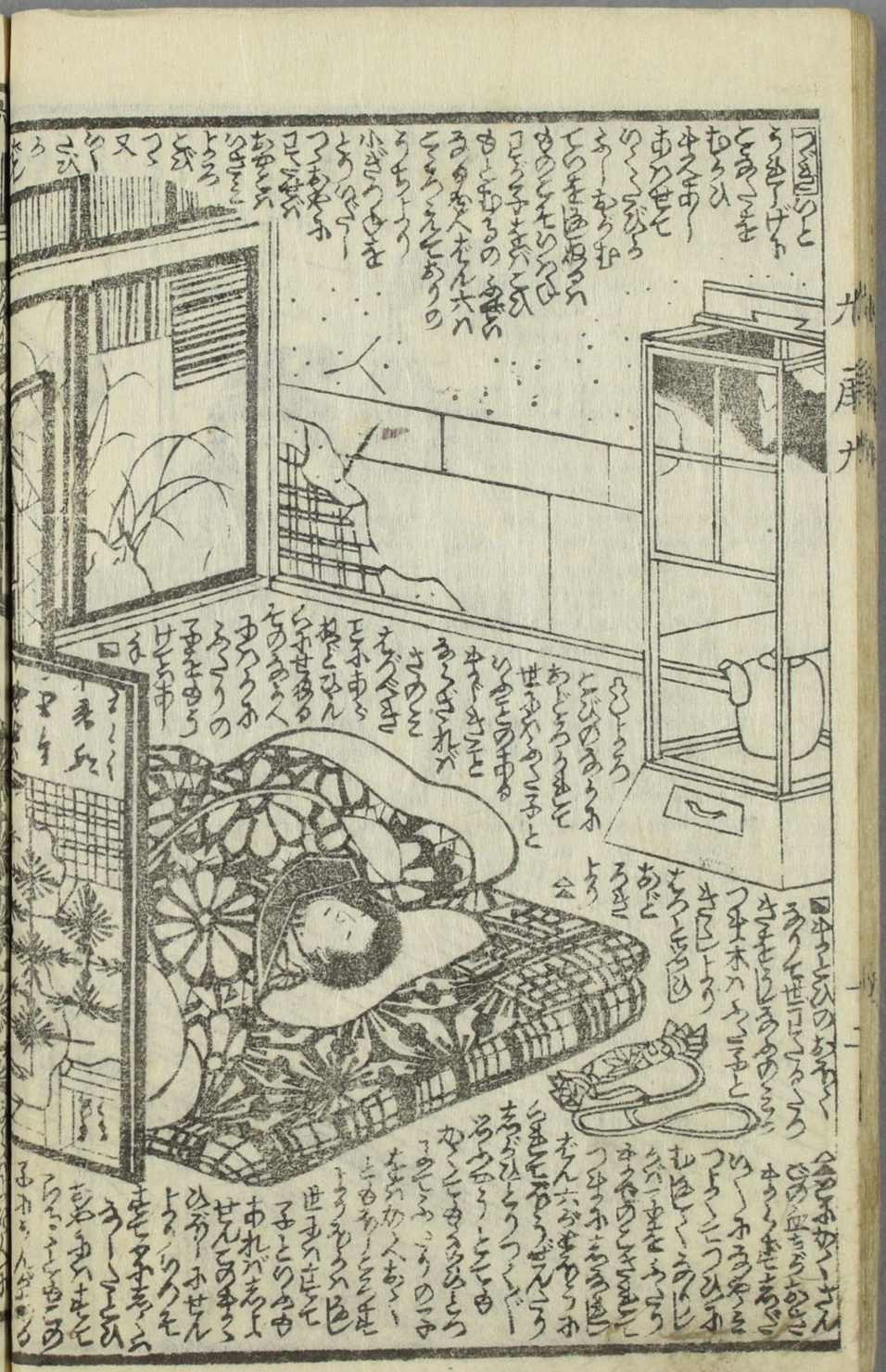


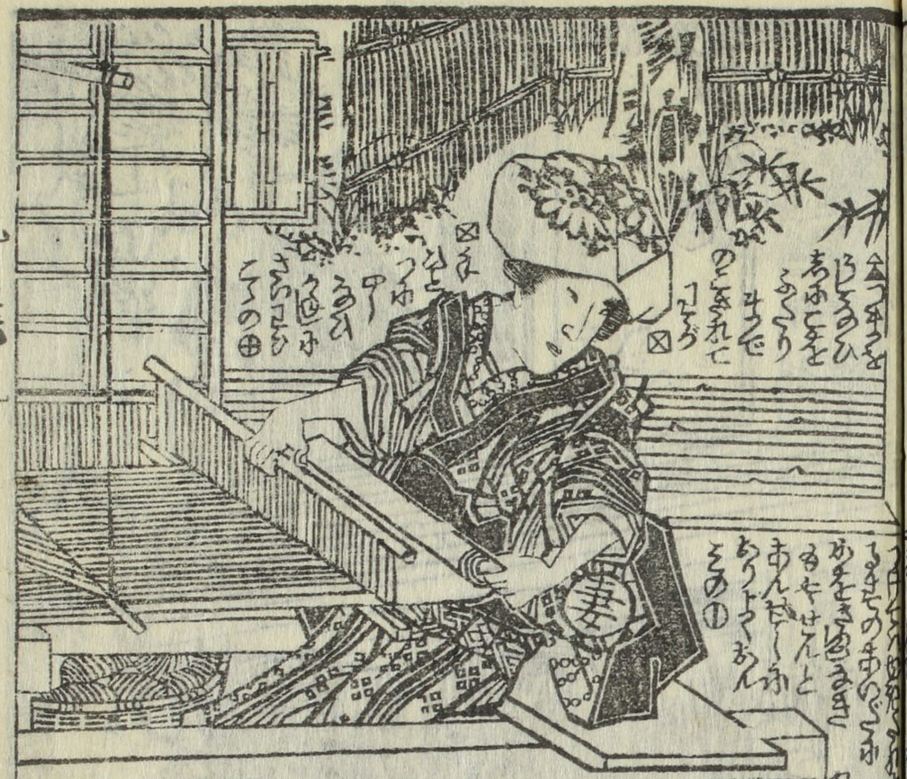

目一

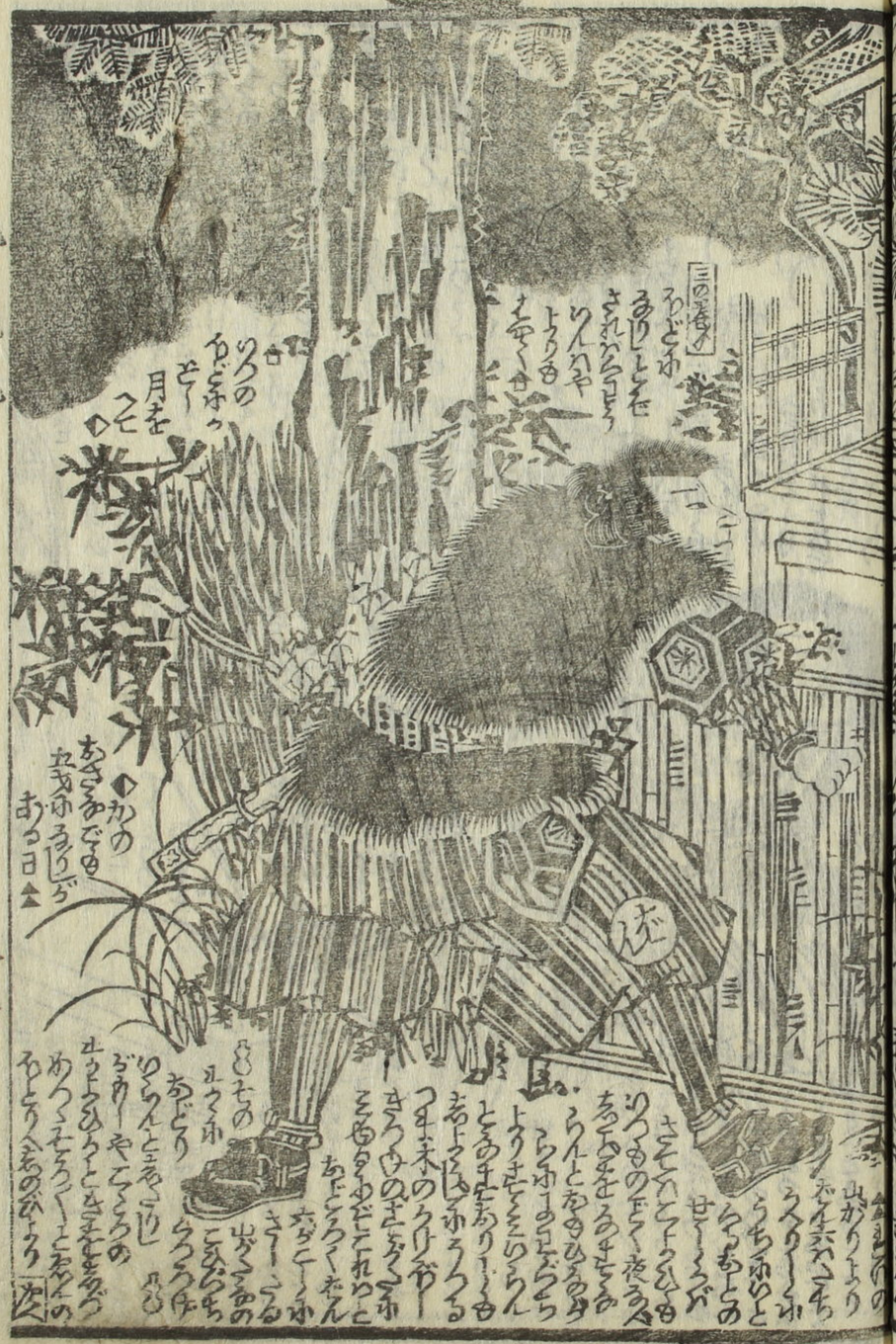


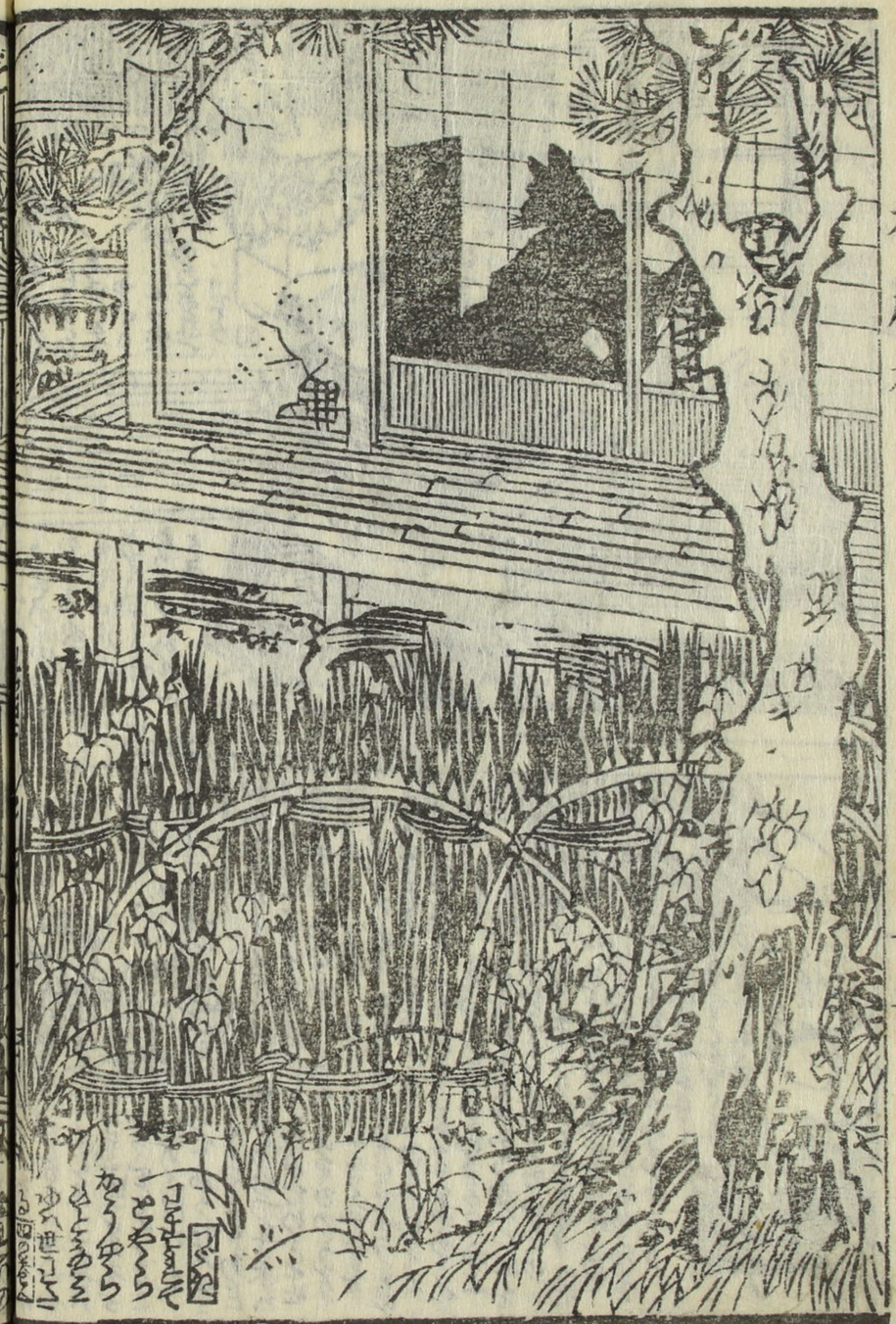
春水作國貞画
遊画より次の巻にいたりて
姑く因果小僧の物語
を圖す

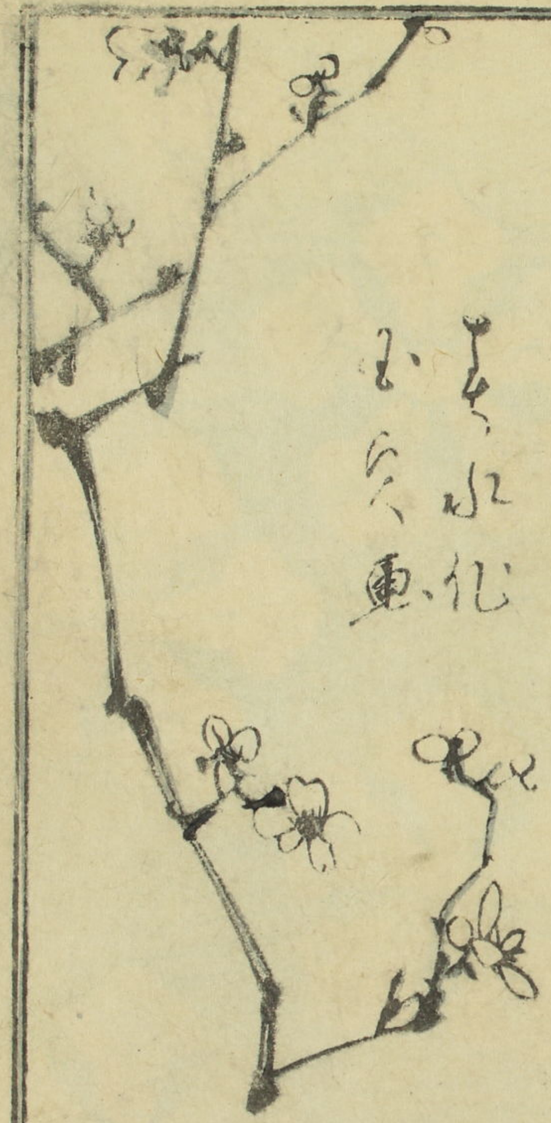
三











新局の庭作化粧

浪花 深崎氏製

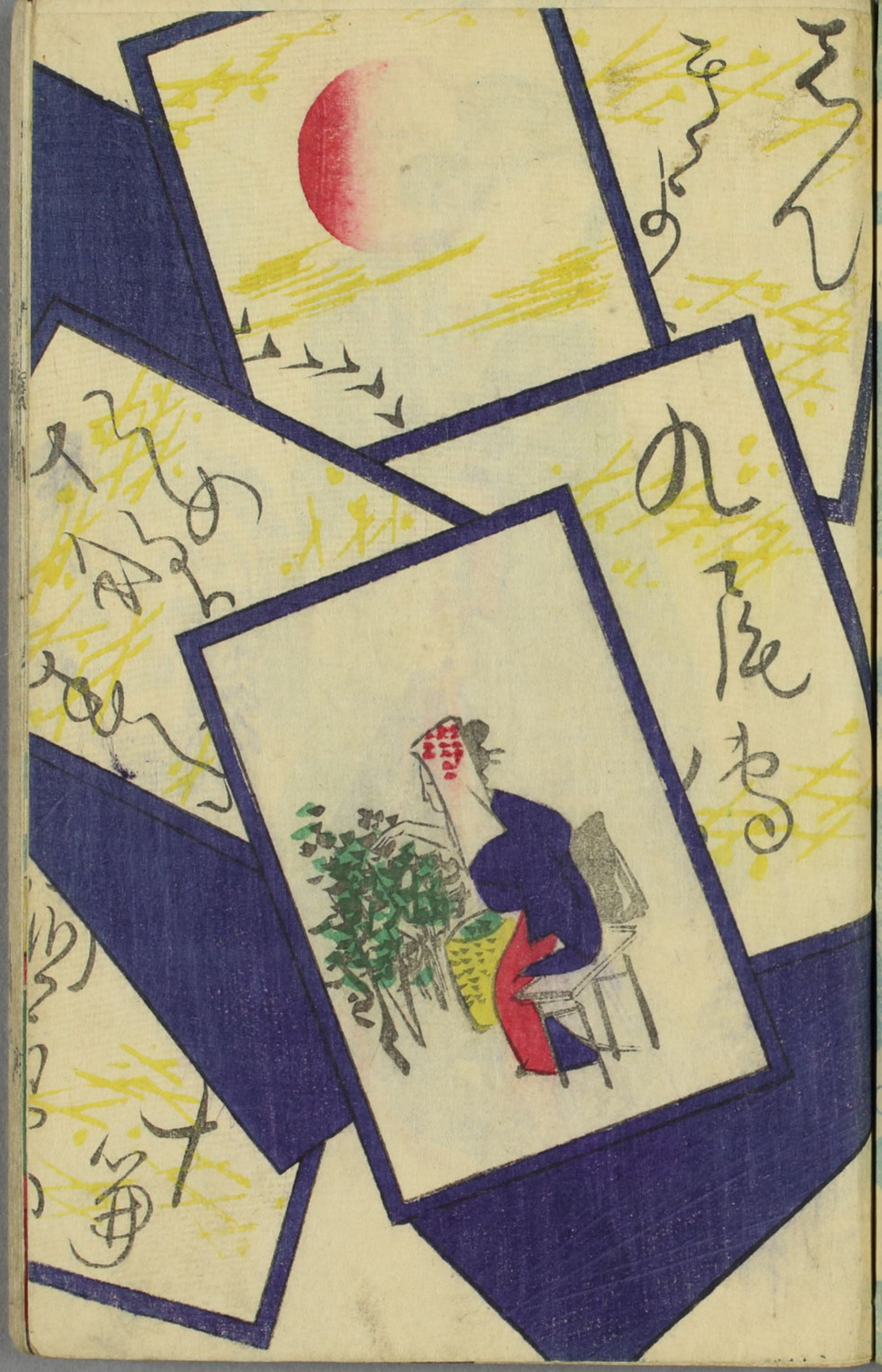
朝鮮牛肉丸 大包金二朱 中包金一朱 小包百銅

此度朝鮮より牛肉丸来着仕候ところ是迄の牛肉丸と違ひ味ひ格別よろしく候間御試し被下候へば其味ひ御賞美可被下候

卜宿さゝもとや

爲永春水作 歌川國貞画

版元 紅英堂欽白



九尾傳

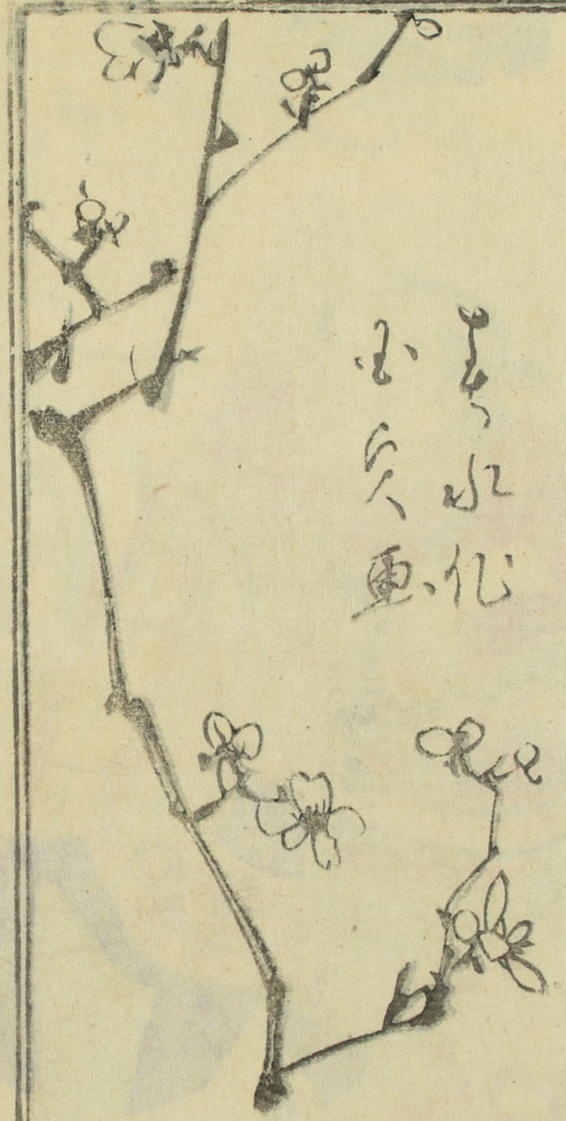
十編下

春水

十編上

國貞画

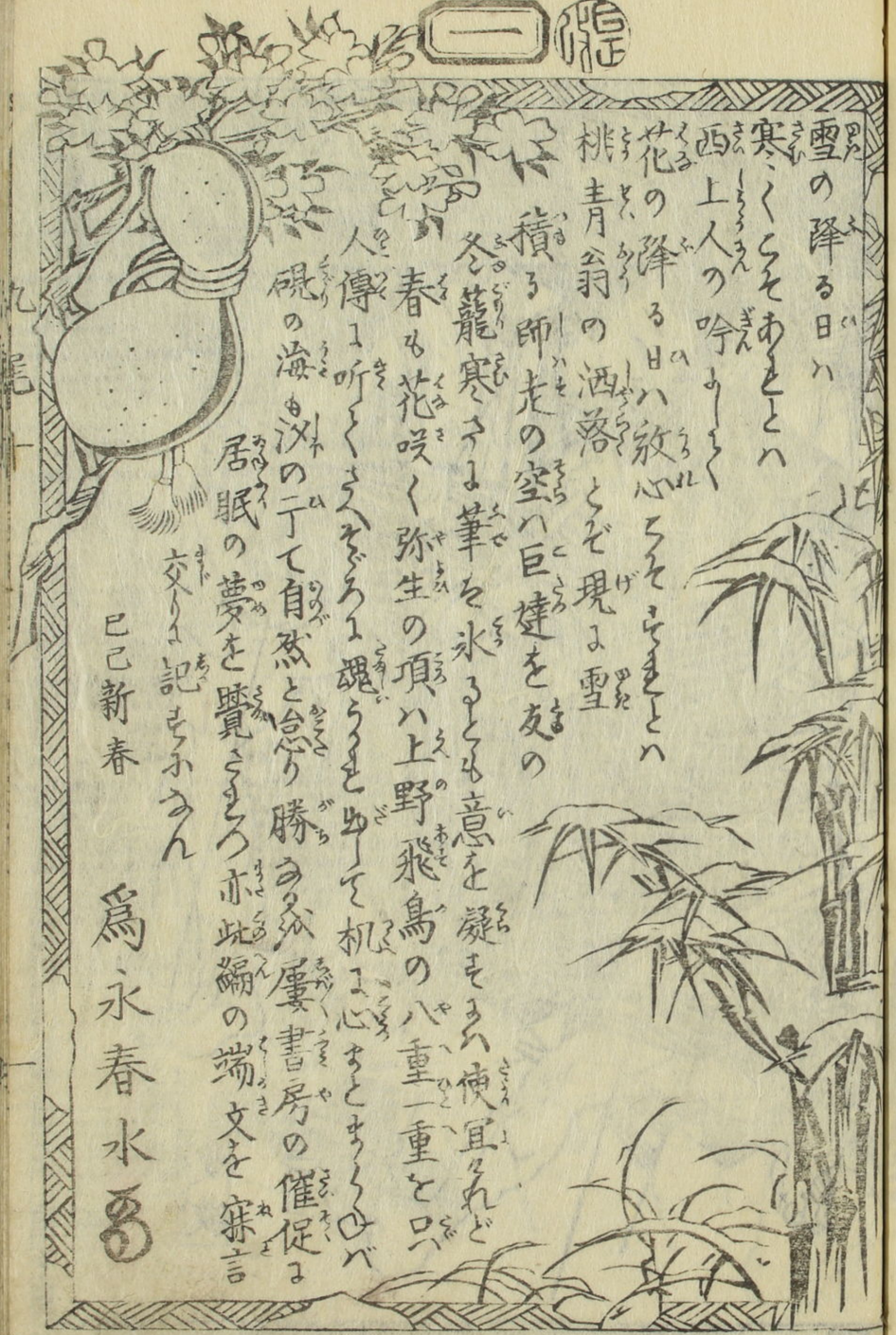
新局の屋偈

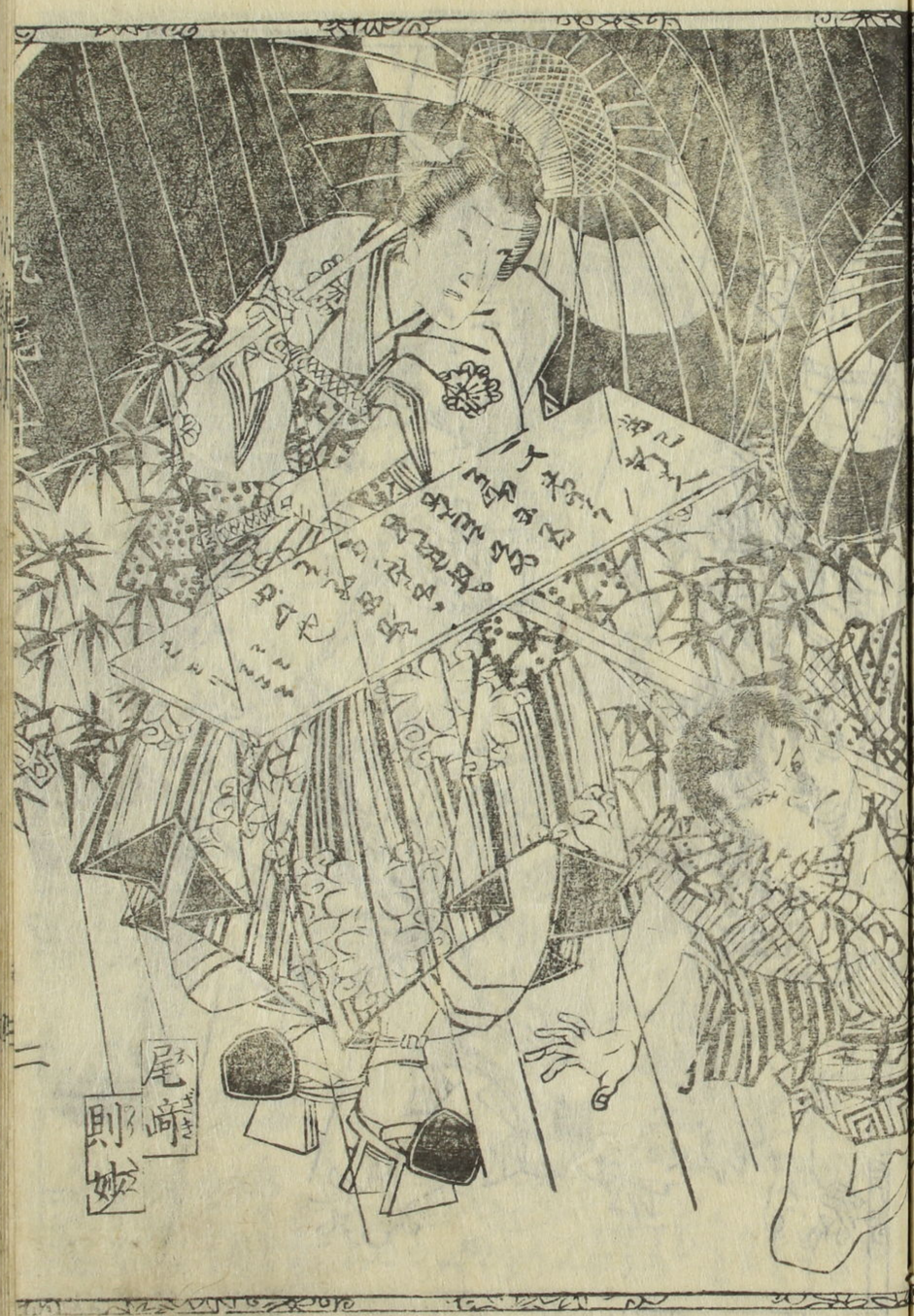


雪の降る日ハ
寒くこそあれとハ
西上人の吟にしたく
花の降る日ハ放心こそすれとハ
桃青翁の洒落とぞ現に雪
積る師走の空ハ巨達を友の
冬籠寒さに筆を氷るとも意を凝すまハ便宜なれど
春も花咲く弥生の頃ハ上野飛鳥の八重一重を只
人傳に听くさへそぞろに魂らるを出して机に心をとまらしめば
硯の海も汐の干て自然と怠り勝なる屢書房の催促に
居眠の夢を覺さまろ亦此編の端文を寐言
交りに記すにかん

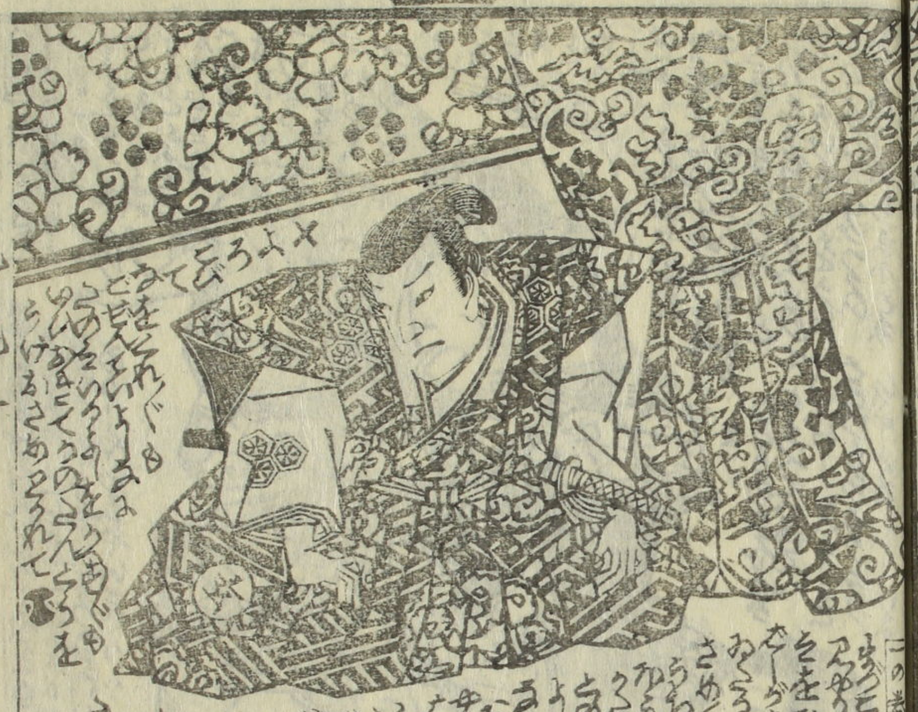
己巳新春

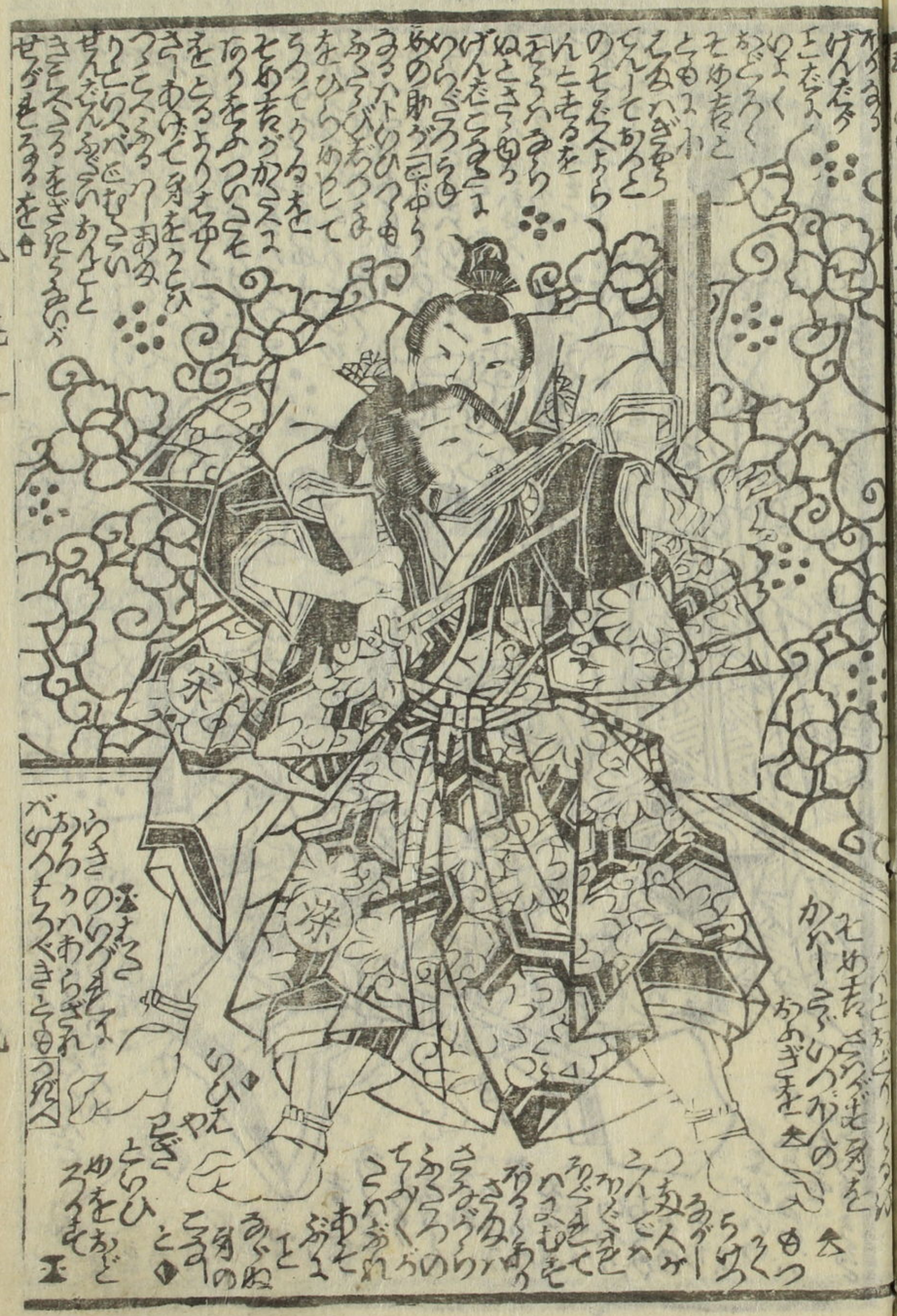
爲永春水




尾崎則妙

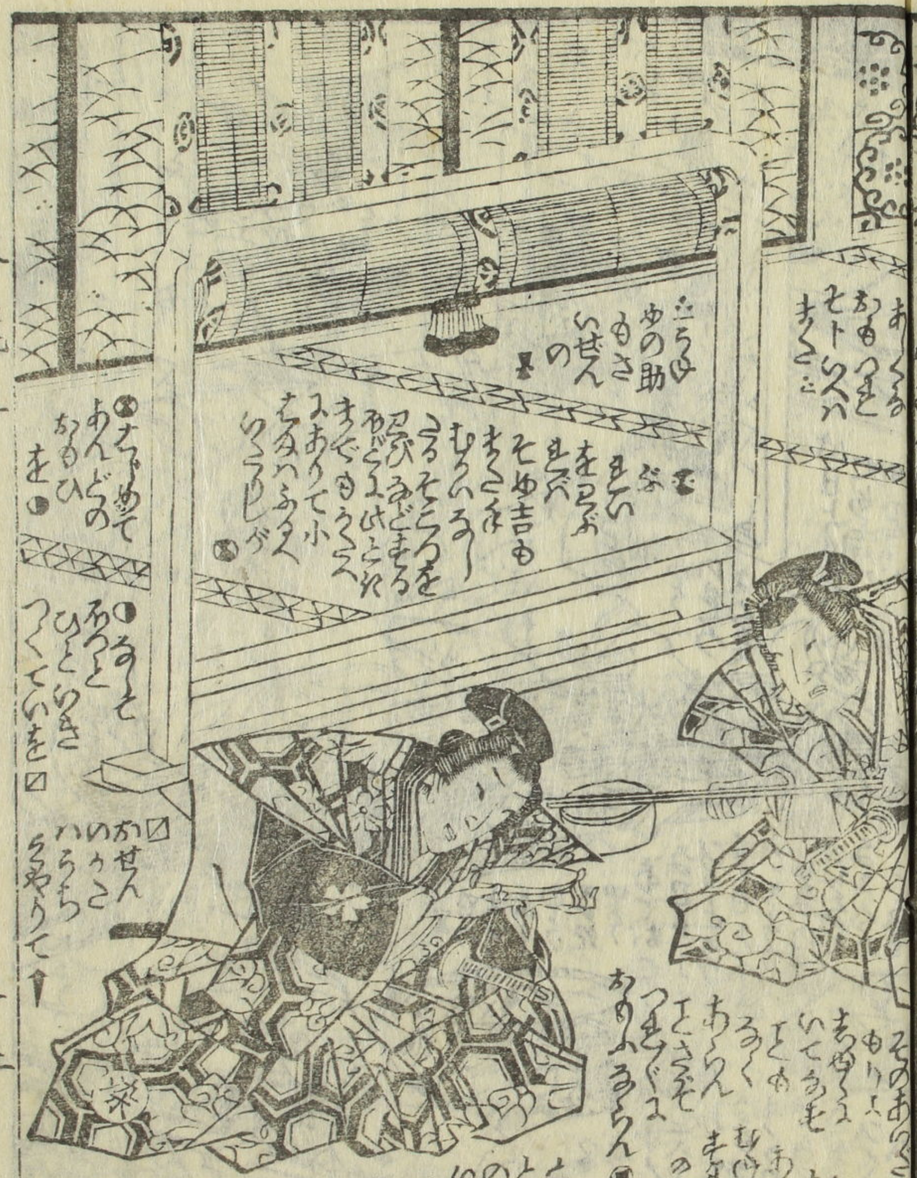
尾本愛敬





國貞画

春水作

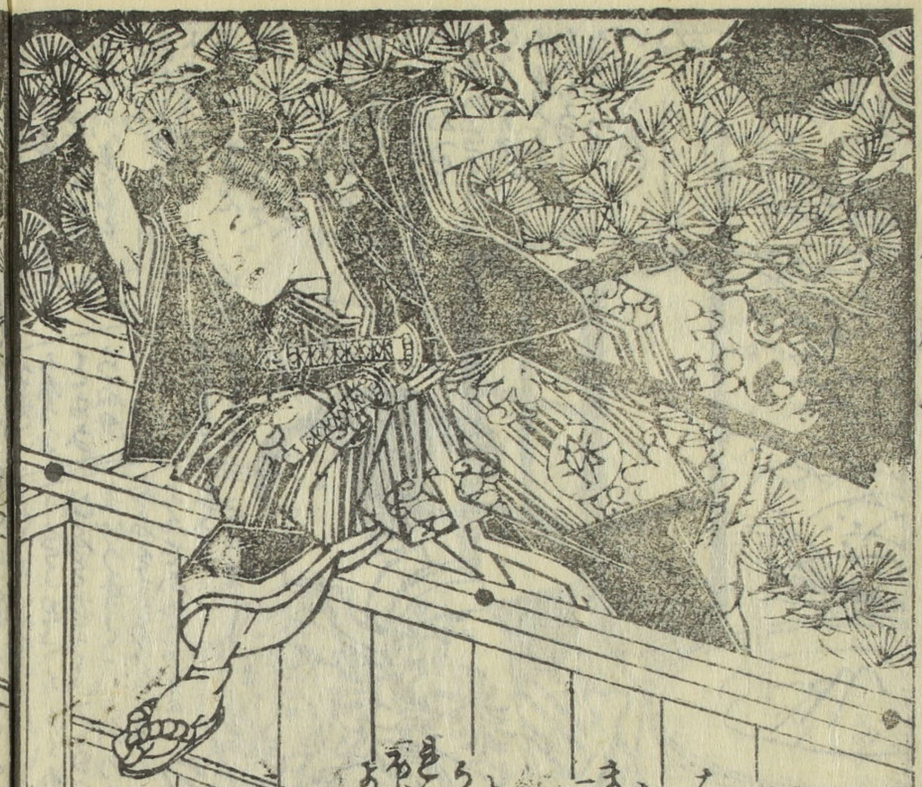
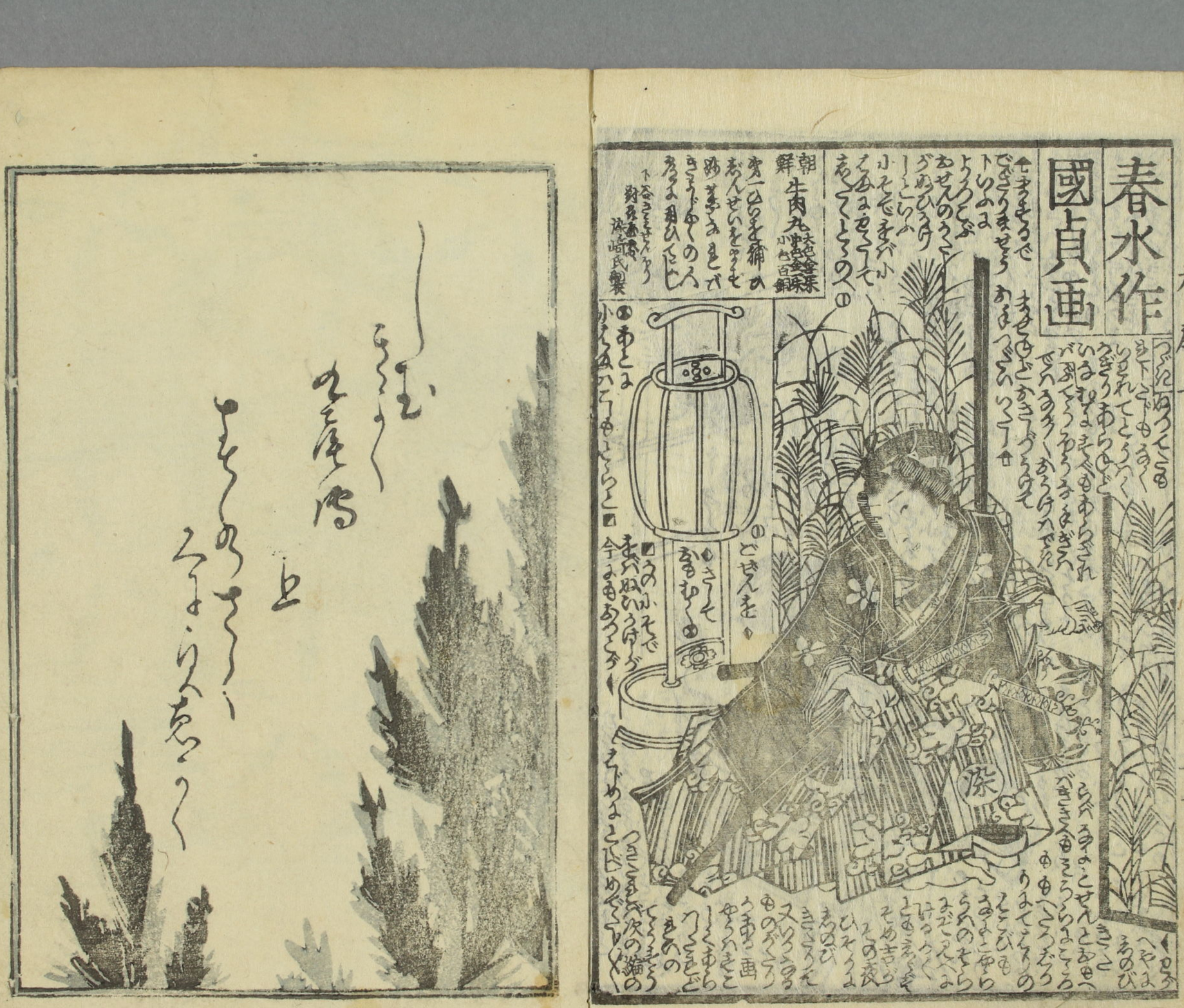


小

[illegible]
[illegible]
[illegible]

風

風



春水作 國貞画